

令和4年度（2022年度）学術研究助成募集要項【特別枠】

この助成事業は、県内の先端科学技術基盤（※）を活用し、イノベーション創出が強く期待できる研究に対して助成金を交付します。

- ※① 大型放射光施設「SPring-8」 ② X線自由電子レーザー施設「SACLA」
 ③ ニュースバル放射光施設 ④ 県放射光研究センター（分析装置）
 ⑤ スーパーコンピュータ「富岳」 ⑥ （公財）計算科学振興財団「FOCUSスパコン」
 ⑦ 金属新素材研究センター（金属用3Dプリンタ等）

項 目	内容及び留意点
1 助成の対象者	<p>兵庫県内に在勤又は在住する研究者・技術者（グループ研究の場合、その研究代表者）で、かつ当該研究について勤務先の承諾が得られる方</p> <p>※1 助成期間中においても本要件を満たすことが必要です。</p> <p>※2 申請日現在、県外の大学等研究機関に在籍していても、助成年度の4月1日時点で県内に異動予定であれば申請いただけます。</p> <p>※3 原則として過去3年以内（2019年度以降）に同じ研究課題で当助成を受けられた方は助成対象外とします。</p>
2 助成対象となる研究	<p>「県内の先端科学技術基盤を活用し、イノベーション創出が強く期待できる研究」とします。（上記の先端科学技術基盤を1つ以上活用するものに限りません。）</p> <p>なお、県の施策と歩調を合わせて戦略的に基盤研究を支援するため、次の研究については加点評価（項目該当ごとに評点を加算）します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>① 県ビームラインを利用する研究</p> <p>② 産学連携研究（産業応用のイメージが明確な研究）</p> <p>③ 上記基盤のうち、2つ以上を連携利用する研究</p> <p>④ マテリアルズ・インフォマティクスの推進に資する研究</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス感染症対策もしくは、ポストコロナ社会の実現に資する研究</p> </div> <p>※同一テーマによる通常枠と特別枠の同時申請は認められません。</p>
3 助成金額及び対象経費	<p>助成金額は、1件当たり100万円以内/件・年とします。（最大3年間継続可）</p> <p>ただし、対象となる経費は、設備備品費、消耗品費、学会発表等旅費、研究協力謝金、その他研究に直接必要と認められるもの。</p>
4 助成対象研究期間	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年4月1日から最大2025年3月31日迄の3年間以内とします。 ・2023年度以降の「継続」の可否については、年度ごとに研究計画の進捗状況进行评估し、決定します。 ・進捗状況により1年に限り延長を認めます。また、各基盤における課題審査不採択等により計画どおり基盤利用ができなかった場合は、当該基盤の利用を翌年度以降とする計画変更を認めます。
5 助成件数	<p>3～4件程度</p>

6 募 集 期 間	2021年9月1日（水）～2021年12月17日（金）（必着）
7 申 請 方 法	<p>「学術研究助成金交付申請書【特別枠】」に必要事項を記入し、当協会事業課宛に提出してください。（正副の計2部） （通常枠と様式が異なりますのでご注意ください）。 申請書の様式は協会ホームページ(https://hyogosta.jp/)に掲載しています。</p>
8 選 考	当協会に設置する審査会で選考の上、理事長が採否を決定し、2022年3月初旬頃に各申請者に通知します。
9 助 成 金 の 交 付 時 期	<p>初年度分は、2022年6月10日（金）に交付予定です。 （交付された助成金は、所属する組織の事務局で管理し、他の研究資金と明確に区分して適正な管理・執行が行えるよう留意してください。また、初年度の経費は、2023年3月31日までにその支払の全てを完了することが必要です。）</p>
10 実 績 報 告 及 び 研 究 成 果 の 公 開	<p>原則として当該年度終了後の2023年4月10日（月）までに実績報告書（成果報告書・会計報告書等）を協会あて提出してください。 なお、正当な理由なく未提出の場合は、助成金の交付決定を取り消し、助成金の返還を求める場合があります。 また、成果報告書は、原則として協会ホームページ(https://hyogosta.jp/)で公開します。</p>